

# ズグラフィート (石灰でつくるひっかき絵) を 体験しませんか？

ズグラフィートはフレスコ画の技法の一種で、着色した石灰マルタ（モルタル）を複数の層重ねて塗り、上の層を削って下の層の色を出すことによって、絵をつくります。家の外壁で風雨にも耐える丈夫さをもっており、イタリアを中心に発達しました。

「絵筆で描く絵」とはまた違った方法で出来上がる絵の面白さを体験してみませんか？

## 実施内容

- ・日時：平成28年9月4日（日）午前11時～午後4時
- ・講師：大野彩（みさお）さん（フレスコ画家）
- ・定員：先着15名（無料） 美術館に直接または電話（0283-86-2008）でお申込みください
- ・もちもの：汚れても良い服装（エプロンなど）、身の回りにある削る道具（スプーン、爪楊枝、クギ、粘土ヘラなど）

## 制作内容について

- ・制作する作品のサイズは、10 cm×10 cm（平面）です
- ・描く内容は自由ですので、事前にどんな絵を描きたいかご用意ください
- ・壁塗りの要領で石灰を塗り、クギなどでそれを削ることにより下地の色を出して、絵をつくります。
- ・色は赤茶色と白の2色構成になります

## 実際の作例



右：壁画 LABO「鹿」栃木県石灰石工業会館

左：大野彩「かくれんぼ」佐野市立吉澤記念美術館

佐野市立吉澤記念美術館

〒327-0501 栃木県佐野市葛生東1-14-30

電話：0283-86-2008

FAX：0283-84-3655

電話受付時間：9:00～17:00（月曜、祝日の翌日休館）